

# 「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和5年4月10日(月) NO1 文責 木下<sup>きした</sup> 文秋<sup>ふみあき</sup>

## すべては「凡事徹底」から

令和5年度が始まりました。一年生の皆さんご入学おめでとうございます。まだ始まったばかりで緊張の連続だと思えますが、少しずつ慣れていくことと思えます。また、先輩となった2年生と3年生の皆さん。後輩ができた自覚と誇りを大事にしてください。そして、今の学年で目指すことがあると思えますので、夢と希望をもって頑張りましょう。今年も三股プライドという学校だよりを不定期ですが発行したいと思えます。サブタイトルに「心と形を整える」とあります。

心とは「優しく素直でたくましい心を育もう」形とは「誰にでもあいさつと返事ができる人としての形を身に付けよう」という願いを込めています。一年間かけて少しでも形になったらと思えます。ところで、今年の三股中職員のスローガンでもあり、生徒にもメッセージとして伝えたいことが「凡事徹底」です。「当たり前のことを当たり前でできる」という意味です。三股中学校は生徒数の増加が続いており、本年度は昨年に比べおよそ70名増え940名となりました。来年はさらに増えるそうです。県内におよそ228の小学校と120の中学校がありますが、こんな増え方をする学校は本校だけです。生徒が増えることは学校に活気があふれとてもいいことです。しかし、基礎基本を怠ると、規律が崩れてしまいます。大事なことは「生徒一人一人が当たり前のことを当たり前ですること」です。凡事とは「ありふれたこと、ありきたりのこと」を意味していて、非凡とは「普通より特に優れていること」を意味します。皆さんに求めていることは非凡な才能ではなく、凡事をやりぬく強い意志です。校門での一礼や二分前着席・黙想、清掃の黄金の時間は先輩たちが築いてきた伝統です。この伝統を絶やすことなく脈々と受け継ぐ必要があります。これが三股プライドであり三股魂です。

最後に、金曜日の新任式でとてもうれしいことがありました。新しい先生を出迎える生徒の態度と話を聞く姿勢。部顧問紹介で先生に送る盛大な拍手。人としての温かみを感じる瞬間でした。とてもいいスタートを切ることができました。簡単にはいかないかもしれませんが、令和5年度もみんなで頑張ります。

